

# 現代の名工に能登杜氏

## 中三郎さん（越坂）

### 県内から2人が現代の名工に

「現代の名工」とは卓越した技能をもち、その道で第一人者と目されている技能者を選定するもので、厚生労働大臣が表彰します。昭和42年に創設され、技能者の地位や技能水準の向上を図るとともに、技能の世界で活躍する職人や、技能の世界を志す若者に目標を示し、夢や希望を与えてきました。

平成17年度は、道場六三郎氏や矢入一男氏をはじめ、全国で150人が11月9日に表彰を受けました。その現代の名工に、能登杜氏の中三郎さん（越坂・68歳）が選ばれました。



中三郎さんは、白山市の酒造会社に勤める能登杜氏として活躍されています。日本酒製造のうち、特に麴および山廃酒母製造に関する技能に卓越し、山廃仕込純米酒の製法を確立。山廃仕込純米酒は、日本酒愛好家を増やし、近年は多くの酒造メーカーが商品化を推進しています。このため、山廃酒母造りの技術の伝承が多くのメーカーでもなされる要因ともなりました。また、吟醸酒の製法も研究し、現在では多くの愛飲家に支持されている功績が認められ、今回の受賞となりました。能登杜氏としては21年ぶり2人目の受賞となった中三郎さんは「会社、蔵人、周りの人の協力のおかげです。わたしがみんなの代表として受賞したという気持ちです」と受賞の感想を話してくれました。

### 日本酒を造り続けた48年間

昭和32年、20歳のときに静岡県の蔵元



に出稼ぎに出た中三郎さんは、酒造りの魅力に惹かれ、勉強を重ねました。昭和46年、34歳で白山市の酒造会社に入り、以後34年間にわたり、能登杜氏として山廃仕込にこだわり、酒造りに取り組んできました。

中三郎さんの酒造りは、9月半ばから4月半ばまで行われます。「酒を飲む人のニーズは年々変わる。ニーズに応えながらも、自分のスタイルを守っていききたい」と時代の流れを見ながらも、自分流にこだわります。

「この受賞を機に、原点に帰ってさらに勉強し、酒造りを進めたい」と今後の意気込みを語ってくれた中三郎さん。「つまみ」といわれる酒を造るため、自分が納得できる酒を造るために培った、能登杜氏としての卓越した技能を、次の世代に伝承していつてもらいたいものです。

「杜氏は勤が一番大切。勤が衰えるまでは酒を造り続けたい」と目を輝かせて話してくれました。

### ※日本酒用語解説

・杜氏（とっじ） 蔵の管理、帳簿管理、もろみの仕込みと管理などを行う酒造りの最高責任者。杜氏の経験と勤が酒の出来栄を大きく左右する。能登杜氏は日本4大杜氏のひとつに数えられている。  
 ・酒母（しゅぼ） 乳酸を含んだ酵母の培養液のこと。酵母はアルコール発酵する微生物で雑菌に弱いため乳酸菌によって守られる。「もろ」ともいわれる。  
 ・山廃（やまはら） 「山卸廃止」の略。精米技術が発達していなかった江戸時代は、酒母を造る過程で山卸と呼ばれる山にした蒸し米をつぶす作業をしていた。山廃仕込につかわれる「山廃もろ」は、自然の乳酸菌を使い、できあがるまでに約1カ月半かかる。余分な酵母が混じらないため雑味がないといわれる。  
 ・純米酒 醸造アルコールが添加されていない、精米歩合が70%以下（米の外側を30%以上削る）の日本酒。約8割の日本酒には醸造アルコールが添加されている。純米酒は造りが難しいとされる。

# 秋の叙勲に3人が栄えある受章

## 瑞宝双光章

宮本康一さん（笹川・70歳）

宮本さんは、昭和37年に歯科医院を開業し、43年にわたり歯の治療や啓発活動に尽力しました。今回の受章に「父も勲章をもらっていたが、自分ももらってはじめて重さを実感した。ありがたいと思っっている」と喜びを語ってくれました。「スライドを作って学校で指導するなど最初の10年間の啓発活動が難しかった」と活動を振り返る宮本さん。本業の歯科医以外にも猿鬼健康大会や、キリシマの普及など地域おこしにも力を注いでいます。「能登にしかないキリシマの魅力をもっと知ってもらいたい」と熱く語ってくれました。



## 瑞宝単光章

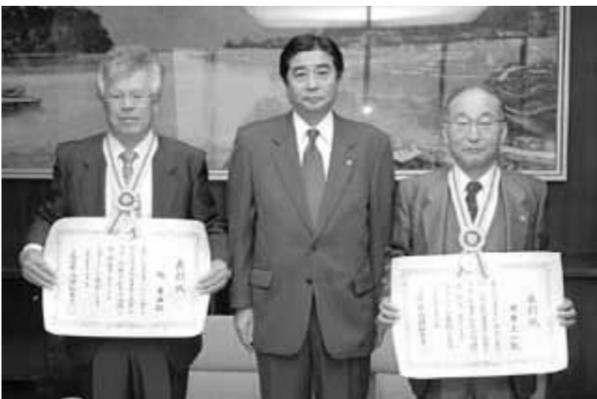
向 富士男さん（市之瀬・65歳）

向さんは、約38年間にわたり郵便局職員として地域の郵政事業に力を注ぎました。「夢のような気持ち。周りの人たちに支えてもらって今の自分がある。本当にありがたいと思っっている」と受章の喜びを語ってくれました。勲章を前に「この受章に恥じないようこれからもまっすぐ歩いていきたい」と話す向さんは、祖父、父と3代にわたり郵便局に勤めてきました。力強く「妻と一緒にやってきたことが間違いではなかったと実感している」と話す向さん。これからも二人三脚でがんばってくださいます。

## 瑞宝単光章

田中太知夫さん（七見・74歳）

平成7年3月までの35年間にわたり、消防団員として地域の防災に尽力してきた田中さんは、今回の受章を「周りのみなさんの協力のおかげで、感謝している」と受章の喜びを語ってくれました。「鶴川の水害のとき、町中をロープづたいで渡ったことや1週間くらい炊き出しをしたことが大変だった。昔は山火事もたくさんあり、仕事を歩いて出て行くこともよくあった」と消防団活動を振り返り、「体が元気なうちは、地域のために少しでも役に立てるようがんばりたい」と笑顔で話してくれました。



20年以上保護司として活動されている河合元一さん（右）と橘重典さん（左）

## 河合さん・橘さんが保護司法務大臣表彰を受賞

保護司は、犯罪を犯した人の立ち直りの援助や、犯罪や非行の予防に関する助言、指導などの活動を行います。10月27日に羽咋市で開催された石川県厚生保護大会において、河合元一さん（鶴川）と橘重典さん（松波）の2人が法務大臣表彰を受賞し、11月9日に持木町長に報告に訪れました。河合さんは昭和56年から、橘さんは昭和58年から保護司として活動しています。「まじめに更正して社会に復帰した人たちがいることがうれしい」と保護司としての活動を振り返っていました。

卓越した勤を頼りに醸造の進み具合を確かめる中さん（写真提供：北陸中日新聞）

能登町文化祭が、11月2日・3日にかけて内浦総合運動公園を会場に行われました。能登町誕生記念として、サブテーマに「ひと・くらしが輝くふれあいのまち」を掲げた今年の文化祭は、文化協会の主催で開催され、能都・柳田・内浦地区からたくさんの方が参加しました。

文化祭は「芸能部門」「展示部門」「囲碁」「お茶席」の4会場で行われました。3日に内浦第二体育館で行われた芸能部門では、大正琴や舞踊・民謡・コーラス・詩吟など延べ約260人がそれぞれの活動を披露し、訪れた観客を魅了しました。

文化協会長の高木泰憲さんは「この文化祭を出発点として、能登町の文化活動をさらに高め、【文化の香り高い能登町】を築いていきたい」と今後のさらなる活動に意欲をみせていました。

## 芸能



## 展示

展示部門は2日・3日に内浦体育館で行われました。盆栽・絵画・書道・俳句・短歌・華道・陶芸・菊花などが体育館いっばいに展示されました。



## お茶 囲碁



囲碁は多目的交流研修施設で、お茶席はスポーツ研修センターで行われました。





# わたしが町長になったら ～中学生と町長が語る～

あなたが町長になったら何をしたいですか？町内6中学校の2年生を対象に募集した「私が町長だったら」作文の表彰式が10月31日に行われ、入賞者8人と持木町長がまちづくりについての意見を交わしました。生徒らは「祭りをもっとPRしたい」「過疎化をなくしたい」「町の清掃に取り組みたい」など活発な意見を町長にぶつけました。町長も一人ひとりの意見を真剣に聞き、作文の感想などを丁寧にコメントしていました。

◆最優秀賞  
岩本 由衣 (能都中学校)  
国分ゆう穂 (能都中学校)  
水島 侑希 (能都中学校)

◆優秀賞  
林 あかり (小本中学校)  
餅木 葵 (小木中学校)  
紅屋 来美 (能都中学校)  
長坂 梨恵 (能都中学校)  
山上 栞 (能都中学校)

## 最優秀作品の紹介

能都中2年 岩本 由衣  
今年の3月1日、能都町と内浦町、そして柳田村が合併して、新しい町「能登町」が誕生しました。  
私がおも、この大きな町「能登町」の町長になったら、力を入れたことが3つあります。それは、文化と自然と産業を発展させることで

能都中2年 国分 ゆう穂  
もしも、私が町長になったら、まず、大きなお花畑を作ります。そして、町を色とりどりの花でいっぱいにします。  
最近、休日でもテレビゲームばかりしている子どもが増えていると聞きます。私はその人たちにも自然の良さを知って欲しいのです。晴れた日に少し空を見ているだけで、ポカポカして幸せな気持ちになります。これにキレイな花を加えるだけで人々の心が癒されると思っています。そうすれば、大人だって、日ごろの疲れを癒すことができるし、お花畑が観光スポットになれば、他県から能登町に来た人が花を見て、癒されて幸せな気持ちになることができます。私も、こっちは嬉しいと思います。私は、笑顔と花と喜びでいっぱい町の町にしたいと思っています。

次に、お祭りを一つ作ります。旧能都町は3月1日に新能登町に変わりました。しかし、変わったのは町の名前や有線テレビくらいしか分かりません。学校は別々なので、同じ能登町の人も仲良くなれたらいいなあと思います。そこで



そこで

能都町が能登町に変わった、3月1日に、宇出津、柳田、内浦で一年ごとに場所を変えて交流やよい町づくりを理由としたお祭りをすれば、みんなの仲が深まっていくと思えます。  
そのためには、お花畑を作ったり、お祭りを作るのも大切だと思いますが、なによりも大切なのは、町長がみんなから信頼されているかどうかだと思います。だから、私が町長になったらとしたら、一番最初に自分から信頼される、いい町長になれるように努力します。そして、能登町が、よりよい町になるように頑張りたいです。

能都中2年 水島 侑希

もし、ぼくが町長になったら、まず人口の減少を問題に取り上げると思っています。  
毎年少しずつ減っていく能登町の人口。ぼくはそれを何とかしたい。そこで考えたのは、都心の会社の支社をつくること。本社から能登町支社に転勤になって、能登町に移り住んだり、他の市町村から通勤する人たちが少しはにぎわうと思う。ま



まず一つ目の文化と、地域の伝統や芸能、行事などのこ

とです。例えば、祭りという視点で考えると、能登町には宇出津のあばれ祭り、鵜川のわか祭り、恋路の火祭り、柳田のござれ祭りなどいろいろあります。この祭りにたくさんの人々が参加してくれるように、新しい体験型の祭りに工夫しながら、昔からの伝統も残したものを作っていききたいと思います。そして、その工夫された祭りを日本中に知ってもらうために、ポスターやインターネットを利用して宣伝したいと思います。  
そして二つ目の自然というのは、能登町にある素晴らしい自然を守っていくという面と豊かな自然を多くの人々に知ってもらい、訪れてほしいという面です。能登町には、海の幸や山の幸が新鮮で豊富です。都会に住んでいる人が来て、おいしいものを食べて満足してもらい、また何度も訪れてくれるようになればいいなと思います。そして、そのおいしいものが採れる海や山を守っていくためには、一人ひとりの町民全員が環境保護を心がけ、ゴミを減らしていくことが大切だと思います。

た、その転勤した人の家族も来て、世帯数も増えるだろうと思う。  
二つ目は、魚釣り目当ての観光客をたくさん呼ぶことです。それで町はにぎわうと思います。そのためにも、まず海のゴミをすっきり無くし、海にゴミを捨てないように能登町全体に呼びかけ、能登町全体に伝わるように能登町有線テレビ、回覧板などで呼びかければ、少しどころが大変に海はきれいになり、観光客が増えるというふうに思っています。また、都心の方に旧能登町、旧内浦町はこんな魚が釣れると宣伝するともっといいと思つ。  
次に旧柳田村は山があります。そこで山の自然を利用して体験広場と、市民や観光客を対象にし能登町の貴重な自然を体験してもらおうという施設です。春は山菜取りという体験広場をつくり、山菜を自分たちで摘んで食べるというものです。夏はキャンプができる施設をつくり、秋にはきのこ取り体験をし山菜取りと同様なことをします。そうすれば、観光客の数も増加し、能登町の活性化につながると思います。また、能登町も有名になると思います。  
三つ目に、旧能都町、旧内浦町、旧柳田村の3つの町村を結ぶ直線道路をつくり、30分以内にお互いに行き来でき、その真ん中に大きな

最近、私の家の近くの海では、赤潮が頻繁に発生しています。これでは魚もいなくなってしまうばかりか、私たちも海で泳ぐことができなくなってしまう。そうならないために、できるかぎりの対策を考えて自然を守っていききたいと思います。  
そして三つ目は産業を発展させたということです。能登町には若い人が少ないので、何か魅力のある産業をつくり、たくさんの方が働ける場所を提供していきたいです。例えば、能登町の特産品を活かし、内浦の海洋深層水、柳田のブルーベリーや柳田牛、能都の海の幸を合わせて、産業をつくりだし、全国へ発信して、能登町の名前がどこでも見れ、有名になっていけばいいと思います。  
この三つに共通しているのは、能登町に多くの方が訪れてほしいということです。能登町空港を利用して、都会の人に近くなった能登に、気軽に遊びにきてほしいです。  
私は本当に、この「能登町」が好きです。だからこの町を、伝統ある文化・豊かな自然・新しい産業が合わさったところになりたいです。  
私は、この町で生まれ、この町で生きていくことをとても誇りに思います。なので、町民一人ひとりが幸せに暮らせる町づくりを目指したいです。私の大好きな郷里のために……。



テーマパークをつくって、能登町の人たちが交流できるほか、能登町以外や県外などからもたくさん観光客でにぎわうと思います。

次に外国との交流にも力を入れ、外国に姉妹都市を増やし、お互いに行き来しあいます。まだまだやりたことはたくさんありますが、最後に一つ。ぼくが絶対にやろうと思つていることは、お年寄りに優しい町づくりをすることです。今まで、旧能都町、旧内浦町、旧柳田村を支えてきたお年寄りの人たちに、住みやすい町づくりをしたいと思います。町全体をバリアフリーにしたり、身体の不自由なお年寄りや身体に障害をもった人たちが気軽に交流できる施設もつくりたいです。  
ぼくは、この作文を書いて町を便利にするよりも、この自然豊かな能登町を守っていく方が大切かもしれない。発展するのでもいいけど能登町の自然をそのままに残すのもいいと思つた。

もし、ぼくが本当に町長になったら、この作文のとおりしてみたいと思う。

あなたのアイデアがまちをつくる

# まちづくりのアイデア募集

能登町では現在、計画期間を10年間とする「能登町総合計画」の策定に向けて取り組んでいます。この計画は、これからの能登町の基本指針となるものです。「奥能登にひと・くらしが輝くふれあいのまち」を目指し、住民の主体的な活動と行政との協働による『一步前へ進むまちづくり』を実践しようとしています。

そこで、計画策定にあたっては、住民のみなさんのアイデアやご意見を積極的に取り入れたいと考えており、次のテーマに関するアイデアをお寄せください。

### 〈募集テーマ〉

- ① これからの奥能登地域と能登町のあり方
- ② 活力ある住みよい能登町のためのアイデア
- ③ 『一步前へ進むまちづくり』のために、わたしたち住民ができること

※ 宗教的・政治的なものや中傷・批判を含む内容のものは除きます。建設的なアイデアをお寄せください。

### 〈応募方法〉

所定の「応募用紙」に必要事項を記入し、以下の応募先へ持参もしくは郵送、メールでお送りください。「応募用紙」は事務局（企画財政課）のほか、各総合サービス課と各支所出張所にも設置してあります。また、町のホームページからダウンロードすることもできます。

複数のアイデアを応募される場合は、アイデアごとに応募用紙を分けてご使用ください。

### 〈募集期間〉

12月28日(水)まで

### 〈応募資格〉

特にありません。町民以外の方も応募できます。

### 〈応募特典〉

評価委員（能登町総合計画審議会委員より選出）により、応募アイデアを評価し、優秀作品には能登町の特産品を贈呈します。

また、応募アイデアの中で、総合計画に盛り込むことが望ましいと考えられるアイデアについては計画内容に盛り込み、今後のまちづくりにおいてアイデアの実践を目指します。

応募アイデアの主な内容については、広報やホームページで公表します（優秀作品はお名前を公表し、その他の主なアイデアは無記名とします）。

ふるってご応募ください！

### 〈応募先・問い合わせ〉

企画財政課 「総合計画アイデア募集」係  
(担当：五田)

〒927-0492 能登町字宇出津新1-197-1

E-mail: gota-h@town.noto.lg.jp

## 審議会委員紹介②



**山崎玲子**  
(民生委員児童委員協議会)  
少子高齢化が進む中で、お年寄りの方々との

ふれあいや、子育て支援、小さなお子様をお持ちの保護者の方々にも少しでもお力になればと思い、微力ではありますが参加させていただきました。今後、能登町発展のために皆様方のお声が反映できるように努めて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



**川口喜久男** 会長代理  
(おおぞら農業協同組合)  
能登町全体を見回したとき、人々は海・山・田・

畑など自然の恵に育まれて生活していると思います。今は、限られた財政の中で合併の目標が具体的なものとして歩き出す出発点であり、多様なご意見のある中、私の立場に応じた役割を果たし、新町の活性化の一助となるように努めますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。



**藤田東洋昭**  
(のと青年会議所)  
明日の「能登町」に向け新たな段階へ踏み出す中で、わたしたち町民が住みやすい町づくりをしていかなければなりません。

私も町民の一人として、のと青年会議所の会員として、地域の意見を聞き入れ、町の活性化に繋がるように努めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

# 横浜で快走



ジュニアオリンピック優勝  
Cクラス女子100mハードル  
記録：15秒33

## 西 なつみ

柳田中学校1年



自己ベストを大幅に更新して日本一！

10月28日から30日にかけて、神奈川県・日産スタジアムで開催された第36回ジュニアオリンピック陸上競技大会。今大会に石川県代表として出場した西なつみ選手が、予選から他を寄せつけない強さを見せつけ、見事日本一の栄冠を手に入れました。この大会で西選手は予選、準決勝、決勝と立て続けに記録を伸ばし続け、自己最高記録を0.15秒縮める力走を見せました。

11月7日に能都庁舎を訪れた西選手は、持木町長に金メダルを披露し、優勝報告を行いました。この大会で小学生時代からのライバル、白池晴奈選手（田鶴浜中）を抑えての優勝となった西選手は「彼女に勝って優勝できたことが嬉しいです。小学生の大会では負けて悔しい思いをしたので」と悲願の優勝について話しました。また、大会当日のレースについては「調子が良く、日差しが弱く



表彰台の真ん中で笑顔が輝く西選手

ハードルも白く反射しなくて飛びやすかった。最高のコンディションでした」と振り返りました。

### 夢はオリンピックで金メダル

まだ優勝の実感がわかないような気がすると話す西選手。今後の目標について「できるところまで自分を高め、オリンピックで優勝したい」と未来の夢について意欲をみせました。世界の「西なつみ」へ向かって、さらなる飛躍を期待しています。能登町からオリンピック選手が誕生する日もそう遠くありません。



**除雪作業にご協力をお願いします!**

町では、毎年除雪計画を立てて対策していますが、町道は国・県道に比べると幅員が狭く、除雪機が入らない道路があるなど完全な除雪ができないことがあります。

万全の除雪体制を確立するためには、みなさんのご協力がかかせません。次のことに気をつけて、力を合わせて除雪に努めましょう。

- ① 自動車の路上駐車・路上放置は絶対にしないようにしましょう。
- ② 除雪機の前後に飛び出したリ、進行の妨げにならないようお願いします。
- ③ 屋根雪や住宅前の除雪は各自で行いましょう。
- ④ 狭い路地などは町内のみんなでご協力をお願いします。
- ⑤ 道路（特に通学路・歩道）に面する屋根には、雪止めをして事故防止に努めましょう。
- ⑥ 各町内にある消火栓・防火水槽・ごみ収集箱付近の除雪は町内みんなで行いましょう。
- ⑦ 除雪に際して、やむなく民地へ雪を押し出す場合もあります。ご容赦ください。
- ⑧ 除雪に関する要望などについては、まず区長・町会長までご相談ください。

建設課 ☎ 76-8304

# 今年もやっできた冬將軍

心も体も家も、冬に備えよう!

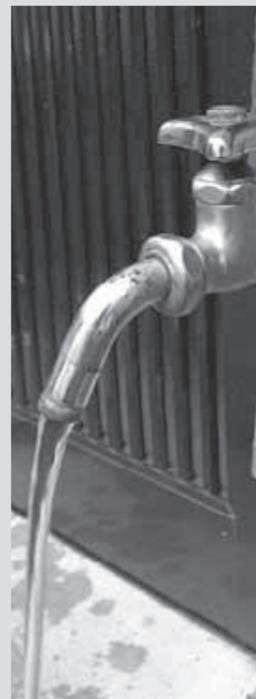
**▼水道管の凍結防止方法**  
「むき出し」になっている水道管や蛇口に、古い毛布・布切れなどを巻き付け、その

凍結防止の準備を早めをお願いします。

- ・風当たりの強い場所
- ・日の当たらない場所

**水道管の凍結・破裂にご注意ください**  
気温が下がると、水道管が凍ったり破裂することがあります。特に多いのは、次のような場合です。

**積雪時の検針について**  
積雪時のメーター検針を行う際、いつでもメーターを見られるように、除雪のご協力をお願いします。積雪によって検針ができないときは、過去の平均料金を請求してその調整は翌月に行います。



上からビニールテープなどを巻き付けてください。

**▼水道管が凍って水が出ないとき**  
凍ってしまった部分に、タオルや布などをかぶせ、その上からゆっくりと「ぬるま湯」をかけてください。

**▼水道管が破裂した時の応急手当**  
メーターボックス内のメーターバルブを閉めて、水を止めてください。破裂した部分に布やテープなどをしっかりと巻き付け、応急処置をしてから、「能登町水道事業指定業者」に連絡して修理をしてください。

※道路内の水道管や消火栓からの漏水を発見した場合、役場水道課または指定業者まで連絡してください。

水道課 ☎ 72-2508

## 次回選挙より 期日前投票所の増設と投票区域の変更を行います

### ◆期日前投票所（3カ所→5カ所）

- ・能都庁舎
- ・柳田庁舎
- ・内浦庁舎
- ・小木支所（新設）
- ・鶴川支所（新設）

※小木支所、鶴川支所については、投票所開設の期間および時間を限定します。

### ◆投票区域（39投票区→24投票区）

投票区	投票所（予定）	区 域
第1	能都社会福祉会館（役場能都庁舎）	宇出津の一部（天保島、天徳町、本町、大蔵町、浜町、酒垂町、大竹町、中組、桜町、三番町、中島町、浜小路、川原町、新村本町、新村浜町、昭和町、音羽町、小棚木、大棚木、城野町、城山）
第2	宇出津小学校	宇出津の一部（仙人町、立町、横町、上田町、上町、中町、大橋組、錦町、栄町、上岩屋町、下岩屋町、漆原、梅の木、平体、大平、源平）、宇出津新港、藤波の一部（辺田ノ浜、柳倉）
第3	ひばり保育所	崎山、藤波の一部（四明ヶ丘）
第4	三波公民館	藤波の一部（間島）、波並
第5	矢波集会所	矢波、黒郷、猪平、吉野
第6	神野公民館	宇加塚、鶴町、曾又、藤ノ瀬、神ノ目
第7	鶴川公民館	七見、鶴川、小垣の一部（一の谷をのぞく）
第8	瑞穂公民館	柿生、瑞穂、俎倉、山田の一部（上三田をのぞく）、武連、本木、小垣の一部（一の谷）
第9	宮地生活改善センター	宮地、鮭尾、山田の一部（上三田）、太田原、柏木
第10	柳田体育館	柳田、笹川、石井、国光、鴨川、五十里、十郎原
第11	小間生公民館	上長尾、小間生、桐畑、鈴ヶ嶺、久田
第12	上町生活改善センター	合鹿、上町、天坂、寺分、五郎左工門分
第13	岩井戸公民館	黒川、大箱、北河内
第14	岩井戸公民館当目分館	当目
第15	上町公民館斉和分館	中斉、神和住
第16	内浦福祉センター	松波、恋路、明生、布浦
第17	上区集会場	上、滝之坊、田代、駒渡
第18	不動寺公民館	時長、国重、山中、満泉寺、宮犬、不動寺、行延
第19	秋吉公民館	九里川尻、秋吉、河ヶ谷、清真
第20	白丸保育所	立壁、四方山、白丸、内浦長尾、新保
第21	能登勤労者プラザ	越坂、市之瀬、明野
第22	小木活性化センター	小木
第23	高倉保育所	姫、真脇、羽生、大沢
第24	小浦集会所	小浦、羽根

町選挙管理委員会では、投票環境の均一化・向上などを目指し、期日前投票所の増設と、投票区域の一部見直しを行いました。次回選挙より、次のとおり変更となりますので、ご注意ください。

なお、投票所については予定ですので、選挙時に郵送される入場券などで確認してください。

みなさまのご理解とご協力を願います。

〈問い合わせ〉選挙管理委員会 ☎ 62-8510

ガーコ (♂)  
ボク露天風呂  
大好きねん!



# 能登七見健康福祉の郷 なごみ編

- 開館時間 午前10時～午後10時
- 定休日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
- 住所 七見ツ字100番地
- 問い合わせ ☎ 67-8200 FAX 67-8202



プールで楽しく体を動かしたあとは、のんびり温泉につかっちゃおう！日本海を眺めながら入れる露天風呂や気泡風呂、サウナもあるんだよ。地下1,500メートルから湧き出るとの温泉は、神経痛や冷え性、疲労回復などに効能があるんだって！



今回は10月にオープン一周年を迎え、入場者数10万人を達成した能登七見健康福祉の郷「なごみ」を紹介するよ！この施設は、町のみならず元気に楽しく健康管理や体力づくりができるようにと作られたものなんだ！色んな世代の人たちが集まって水中運動を楽しんだり、のんびり温泉につかったり、憩いの場としても利用できる場所なんだよ。

ボクも鍛え  
ちやあつかな！



プールが温泉を利用すると、トレーニングの費用が無料です。スタッフが運動前の健康チェックや器具の使い方などもちゃんと教えてくれるから安心だよ。トレーニングルームだけ利用したい時は、利用券を買ってね！



施設内には、レストランや休憩できる大広間もあるから、のんびり休んでいってね！



「なごみ」所長の加藤屋勲さんにお話を聞きました！

Q、「なごみ」誕生一周年を迎えたお気持ちは？

さまざまなイベントがあり、あっという間でしたね。まずはこの施設をみなさんに覚えていただくことが大変でした。

Q、この施設のいいところは？

高齢者の方でも手軽に利用できるプールがあることです。

初めは水に入ることに抵抗を感じる方も多かったようですが、教室などを見学していただいて、プールに対するイメージを変えてもらえるよう努力をしました。利用者の約7割が60歳以上の方なんです。

Q、能登町のみなさんに「なごみ」のPRを！

プールは若い人たちだけの活動の場ではありません。まずは一度プールに入って水中運動などを体験してみてください。「体の調子が良くなった」との利用者のみなさんからの言葉を励みに、これからもスタッフ一同がんばっていききたいと思います。



みんな  
楽しそう！



水温、室温ともに30度に保たれている温水プール！ここでは水中運動やリハビリなどを目的として作られた県内唯一のプールなんだって。幼児用プールやジャグジー、寝湯などがあるから子どもからお年寄りまで一緒に楽しめるよ！毎日無料の水中運動教室や水中アクア教室も開かれてるし、夜になるとプールがライトアップされて幻想的な雰囲気になるんだって！！



プールや浴場を利用するときは、受付の自動販売機で利用券を買ってね！シャンプーや石けんなどはお家から持ってきてね。

**ガーコの取材日記**

入浴して水の中に入ると、心も体も癒されるんだって。みんな知ってた？所長さん、ボクは話しておきたんだけど、お母さんのお腹にいたときの記憶がもう、させるらしいよ。不思議だね。ボクがなごみに行くと、たくさんの方が楽しそうに水中運動をしてたよ。ここは夜の時まで開いてるから、仕事帰りの人も利用できるんだよ。いいよね。あと、ホールには地元の野菜やお米などの特産品を売ってる直売所もあるんだ。水着やタオルもミネラルウォーターも売ってるから、ここに来ればすぐにプールにはいる準備ができるよ。

体づくりや気分転換、みんなの好きな目的もあって、なごみに遊びに来てみてね。

消防団の仕事体験!

▶消防車に乗って小木地区をパトロールしてきます!



消防団に対する理解を子どもたちにも深めてもらおうと、11月15日小木分団、内浦分署職員ら20人が小木小学校の5・6年生の児童を対象に一日消防士体験を行いました。児童たちは消火バケツリレーや放水訓練、また実際に燃えさかる炎を消火器を使って消火するなど、さまざまな防火訓練をゲームなども交えて体験しました。今年で2回目の開催となったこの体験。奥成分団長は「昨年参加した児童たちが、巡回中の団員に手を振って応援してくれるんですよ」と話し、地元の子もたちが将来、分団員として活躍してくれるようにと期待を寄せていました。

久田船長の魂を伝える碑前祭

▶国定教科書を朗読する鵜川小学校5年生



久田船長碑前祭は10月28日に鵜川菅原神社境内で関係者約80人が出席して行われました。久田船長は明治元年に鵜川で生まれ、青森函館間の連絡船「東海丸」の船長でした。明治36年10月29日、東海丸はロシアの貨物船と衝突、乗員乗客を救命ボートに乗せた久田船長は、救助を求めため汽笛の綱を引きながら船とともに没しました。海員の鏡として賞賛された久田船長の行動は、国定教科書や文部省唱歌になるなど、その精神は日本中で称えられました。その功績を後世に伝えようと、地元顕彰会が主催する碑前祭は今年で103回目を迎えました。

「鯨の町」能登町を発信! 鯨楽句談

鯨と深いゆかりのある能登町を全国に発信するイベント「鯨楽句談」が10月29・30日に行われました。メインとなる鯨料理の食談義では、県内外から64人が参加。4会場に分かれて鯨料理に舌鼓を打ちました。鯨の語り部として招かれた能登町漁協の番場米次組合長が、昔ながらの鯨漁の方法などを紹介するなど、鯨話に盛り上がっていました。



▲鯨料理を前に、鯨漁の話をする番場組合長

▶希望の金額で競り落とせるか?



体験メニューが用意された翌日は、セリ体験やタコすかし体験、アブラメ釣り体験が行われました。魚市場で行われたセリ体験には21人が参加し、特別に用意された取れたての魚をセリ落としていました。鯨文化に触れ、能登町の海を体験することができた参加者からは「楽しかった。また参加したい」などの意見が聞かれました。

この餅薄いがの ちょんこいがの



▶直径1.2メートルの大鏡餅の出來を来年の当番が確認する

毎年11月1日から8日まで、鵜川の菅原神社で八講祭が行われます。このうち、7日夜の神事が「いどり祭り」と呼ばれています。祭りの奉仕には当番が決まられていて、この当番は約500年前に決められたものが現在も続いているのです。今年の当番が作った大鏡餅を、来年の当番がイドリ(けなす)、来年の当番を受けない構えを見せます。その際「形が悪い」「こんな出来の悪い餅ははじめてだ」「薄くて光が透けて見える」などさまざまにいどって周りの笑いを誘います。最後は神主が落着させ、祭りが終わります。今年出来た餅をいどることにより、来年の豊作を願う祭りです。

かわいい鼓笛隊が防火をアピール



▶元氣いっぱいに行進し、火災予防を呼びかける園児

秋の火災予防運動の一環として、11月10日に松波保育園の園児57人が防火パレードを行いました。パレードは保育園前から内浦庁舎まで約30分かけて行進しました。5歳児ひかり組の鼓笛隊を先頭に、3・4歳児のほし組・たんぼ組がお揃いのハッピー姿と拍子木を手に元氣に行進し、防火を呼びかけました。途中2カ所で立ち止まり、キラキラ星などの曲を披露した鼓笛隊は、毎日保育園の屋上で練習を重ねたようで、とても上手に演奏していました。沿道には、保護者や近所の人などがたくさん集まり、かわいいパレードに拍手を贈っていました。

瑞穂っ子による最後の瑞校祭!

来年3月で廃校となる瑞穂小中学校最後の文化祭「瑞校祭」が11月6日に行われました。全員が携わった壁画が披露されたあと、劇や総合学習の発表、合唱、PTAの演舞など、それぞれの特徴を出した発表が行われました。谷口PTA会長は今までの地域の協力に感謝し、「子どもたちを元氣に鵜川へ送り出してあげたい」とあいさつしました。一人ひとりが主役となり、思い出深い文化祭になったのではないのでしょうか。



▶小学1・2年生による「大きなかぶら」の一幕

▼全員による合唱「ピリープ」

